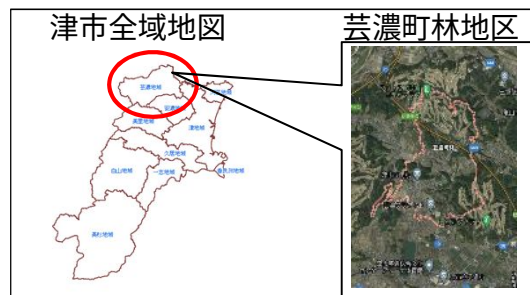


集落ぐるみで手作り資材を利用して！ 林獣害対策協議会（津市芸濃町林地区）

●集落（地区）の概要

- ・所在地：津市芸濃町林地区
- ・戸数：約230戸
- ・農地の状況：水田20ha、畑地5ha
- ・主な作物：水稻、果樹、野菜
- ・主な加害鳥獣：ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ



●活動のようす



ロケット花火の発射台の作成



捕獲檻を釣り糸式から
センサー式へ変更



大型サル用地獄檻の作成



電気柵の点検



座談会の様子



さくらファーム林営農組合設立総会

●取組内容

津市芸濃町林地区は、主に水稻（コシヒカリ）を、畑では野菜、果樹を中心に栽培しています。サル、イノシシ、シカ等の被害による個人での獣害対策には限界が生じたため、集落ぐるみで獣害対策をする流れに変わってきました。

林獣害対策協議会では、ICT等を活用した捕獲資材等の手作りや、集落ぐるみで獣害対策に取り組んでいるところです。

電気柵の継続的な点検や草刈り等による景観維持管理を行い、また有害捕獲にも積極的に取り組んでいることから、被害も少なくなってきました。

令和3年8月に「さくらファーム林営農組合」を設立し、今後も地域の農業維持・発展に努めていきます。